

第37期第6回公運審での主な意見と整理すべき事項について

区分	主な意見
活性化	• 新たに取り組む方向性と引継ぐ伝統
活性化	• 小学生を対象とした講座は比較的参加が多い。
活性化	• 中高大学生、働き世代が参加しやすい仕組み
活性化	• 多様性への配慮と対応
活性化	• 若い世代が参加しやすい環境構築
活性化	• マンション居住者はコミュニティが希薄。町会自治会は高齢者が多い。子供会が機能していない。防災の観点からも横のつながりが必要
活性化	• 若い世代の講座等を通じたコミュニティの構築が将来の活動に繋がる。
活性化	• 使いやすい施設とするためにもキャッシュレスの導入を考慮する必要がある。
活性化	• 学校教育、家庭教育との連携
活性化	• 目先の利用者の利益だけではなく、将来的な観点が必要
活性化	• 幅広い世代の交流が必要。若者を中心とした利用促進
減免	• 地域活動の活性化や社会参加に繋がるなど、積極的に公民館を利用してもらいたい団体
減免	• 18歳以下の若い世代への減免
減免	• 有料化はまちづくり、地域活動を停滞させるおそれがある。
減免	• 学習機会を得づらい人達への配慮（経済的な課題、個人としての利用など）
受益者	• 習い事の類は受益者負担の観点から妥当では？
受益者	• 他の公共施設と比較して、公民館だけが無料ということは好ましくない。公平性の観点からも受益者負担導入が望ましい。
受益者	• 収益性を上げるのではなく、あくまでも受益者負担という観点
利用ルール	• 不適切な利用実態（構成員の大半が市外在住、定員と実利用人数の大幅な齟齬、複数団体登録、無断キャンセルの横行など）
利用ルール	• 18歳以下の団体が使用する場合のルールが必要
市民理解	• 利用の少ない働き世代の声を聴くと有料という意見が多くなると思う。既存の利用が多い高齢者世代は無料という意見が多くなると思う。納得感のある説明が必要
市民理解	• 中長期計画からの方針転換をわかりやすく市民に説明するべき。
その他	• 障がい者団体等の確認方法等の手続きについて
その他	• 歳入の用途について

活性化

- 多世代交流のイメージ
 - スペース？講座？どのような仕組み？
- 若い世代、働き世代をどのように取り込むか？
 - 貸館として？講座？スペース？
- コミュニティの活性化
 - 具体的なイメージは？どのような仕組み？
- 公民館と他機関との連携
 - 学校連携、地域連携、民間等との連携強化

減免、受益者

- 減免範囲の対象
 - どのような活動が行われているのか？
 - どのような団体に使ってもらいたいのか？
 - 習い事活動等の受益者負担は妥当か？

利用ルール

- 公民館の使い方、利用のルール
 - 無断キャンセルの取扱い
 - 市外在住等の構成員の取扱い
 - その他、不適切な利用の抑止策について
 - 個人利用の可否